



ICTを駆使した県内初の河川工事が本格化 (ICT技術を全面活用した河川堤防補強工事の見学会開催)

国土交通省では、建設現場における一人一人の生産性を向上させ、企業の経営環境を改善し、建設現場に携わる人の賃金の水準の向上を図るとともに安全性の確保を目指す新しい取組であるi-Constructionを進めており、その中に「ICT技術の全面的な活用」を位置付けています。

ICT技術を活用した工事は、これまでに道路の新設工事では実績がありましたが、このたび当事務所の河川工事において工事着手から完成までの全工程においてICT技術を取り入れた富山県内初の工事を平成28年11月から行っています。

今回は、その取り組み状況について、県内の国、県市町村の土木職員や建設関係者らを対象に見学会を開催し、その効果や課題などをご紹介しますこととしましたので、お知らせします。

- 日時 平成28年12月20日(火) 10時30分～11時30分
- 場所 黒部川左岸(黒部市浦山地先)
詳細は別紙をご覧ください。
- 工事名 平成28年度浦山縦工外工事
- 参加者(予定)
富山県、黒部市、入善町、朝日町その他土木建設業関係者、事務局(黒部河川事務所)
- 実施内容
 - ・レーザースキャナーによる3次元測定のデモンストレーション
 - ・位置情報を装備した掘削機械による実演(マシンガイダンス)
- その他
 - ・天候にもよりますが、足下が悪いことが想定されます。
 - ・ヘルメットについては、当方でも若干数は用意しますが、ご持参頂けると助かります。

同時配布

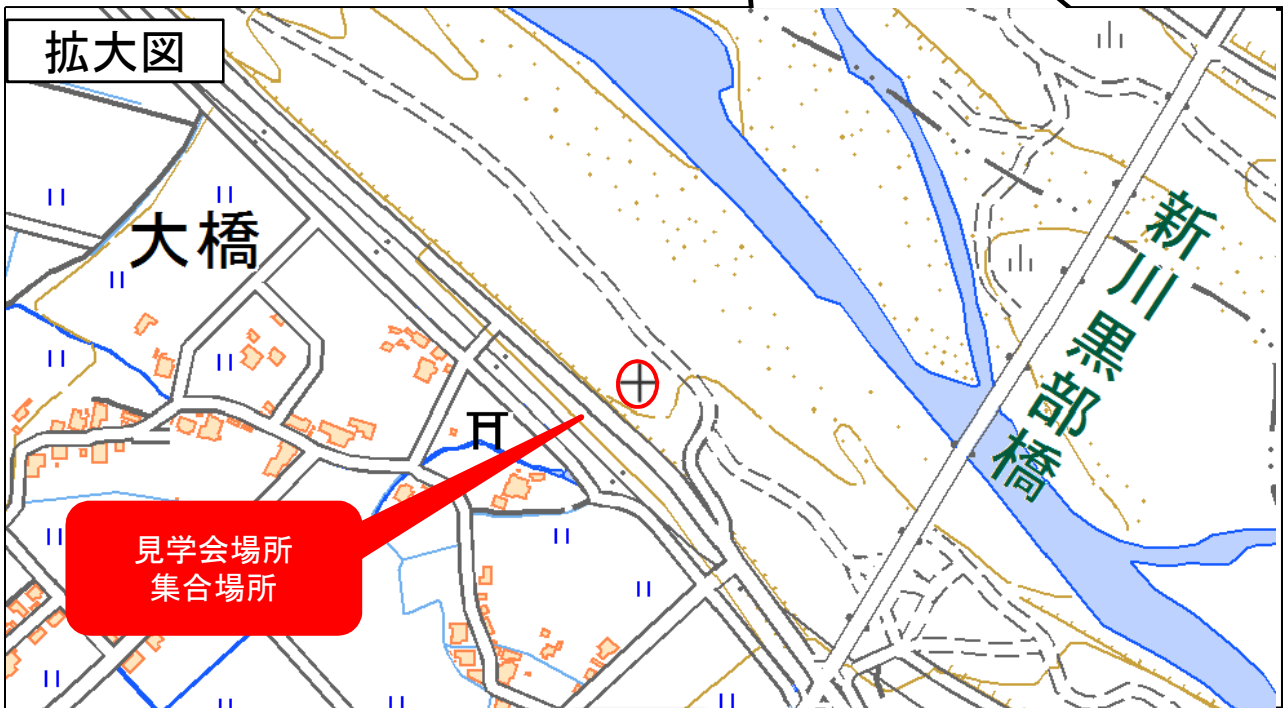
黒部市政記者クラブ

お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 黒部河川事務所
■ 黒部川出張所長 林山 俊矢
Tel : 0765-52-0471(直通)

見学会場所 位置図

別紙



ICT技術の全面活用工事「平成28年度浦山縦工外工事」

i-Constructionの推進

今後、我が国において生産年齢人口が減少することが予想されている中、建設分野において、生産性向上は避けられない課題です。国土交通省においては、建設現場における生産性を向上させ、魅力ある建設現場を目指す新しい取組であるi-Constructionを進めることとしています。i-Constructionによって、建設現場における一人一人の生産性を向上させ、企業の経営環境を改善し、建設現場に携わる人の賃金の水準の向上を図るとともに安全性の確保を推進していきます。

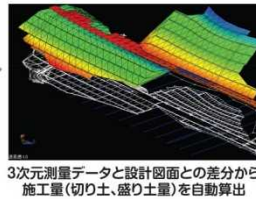
ICT技術の全面活用工事

土工における①調査・測量、②設計、③施工、④検査のプロセスにおいて、情報通信技術を全面的に活用することで出来形や品質などの生産性の向上、また安全性の向上や省力化など環境改善に取り組んでいる工事です。

①レーザースキャナーによる地形の3次元化

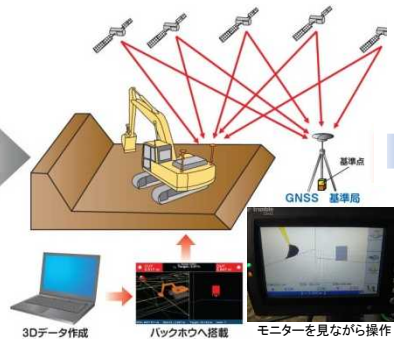


②設計図面のデータと①の重ね合わせによる施工計画の立案



3次元測量データと設計図面との差分から施工量(切り土、盛り土量)を自動算出

③ICT建設機械による施工



④検査の省力化

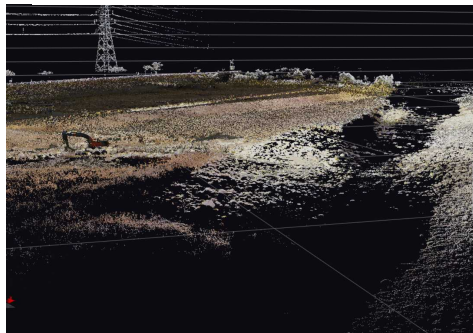


3次元測量を活用した検査により出来形の書類が不要
検査項目が半減。

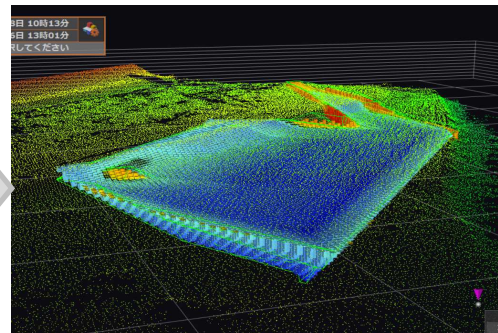
- ・一工事あたりの必要人員を削減出来る事による一人一人の生産性の向上
- ・熟練オペレーター減少への対応

H28浦山縦工外工事での取り組み事例

①LSIによる3次元起工測量



②3次元設計データと3次元測量の重ね合わせ



③マシンガイダンスによる施工(掘削・法面整形)

